

J'ai tout vu. Tout.

HIROSHIMA MON AMOUR

君はヒロシマで何も見なかった。何も。

『二十四時間の情事』

シンポジウム

『ヒロシマ・モナムール』 ートポスとしてのヒロシマ

『二十四時間の情事』のヒロシマ。広島で何を見たのか、見なかったのか。
デュラス、トラベリング、原爆映画から『ヒロシマ・モナムール』を読む。

日時 2016年11月26日(土) 15時15分

場所 広島大学東千田キャンパス

未来創生センター M204教室

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89

TEL(082)542-6968



「はじめに」クロード・レヴィ アルヴァレス(広島大学)

「ヒロシマ—ヌヴェール、2つの都市をつなぐ試みとしての日仏映画」

関未玲(愛知大学)

「ヒロシマ 忘却 トラベリング 時間 アムール」平手友彦(広島大学)

「原爆とメロドラマ—日本映画における原爆表象」大久保清朗(山形大学)

司会 平手友彦

主催 日本フランス語フランス文学会中国・四国支部

提供・発売元 アイ・ヴィー・シー

問い合わせ先 広島大学大学院総合科学研究科平手研究室

082-424-6457 hirate@hiroshima-u.ac.jp

